

癌化学療法輸液約束処方 多発性骨髄腫:MM 4

癌種 再発・難治性多発性骨髄腫
 レジメン名 MM 4 ダラザレックス レブラミド、デキサメタゾン併用時

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日
ダラザレックス	ダラツムマブ		16mg/kg	div	1週目～8週目(1週間間隔投与)
					9週間目～24週間目(2週間間隔投与)
					25週目以降(4週間間隔投与)

1回目

- ① NS 100ml + デキサート20mg + ポララミン1A / 30分 アセトアミノフェン内服
- ② NS 1000ml + ダラザレックス mg / 投与時間参照 ☆フィルターあり
- ③ NS 50ml / 全開

2回目以降

- ① NS 100ml + デキサート20mg + ポララミン1A / 30分 アセトアミノフェン内服
- ② NS 500ml + ダラザレックス mg / 投与時間参照 ☆フィルターあり
- ③ NS 50ml / 全開

<投与速度>		投与速度(mL/分)			
投与開始	希釈後の総量	0-1時間	1-2時間	2-3時間	3時間以降
初回投与	1000ml	50	100	150	200
2回目投与	500ml		100	150	200
全コース	500ml	100	150	200	

<調整方法> 追加する液量と同量の生食を抜き取る

<備考>

- ① infusion reaction 発現時は、投与中断。回復した場合、発現時の半分以下の投与速度で再開を検討。
Grade4以上のinfusion reaction 発現時は投与中止。
- ② 投与時は0.22ミクロン以下のインラインフィルターを用いる。
- ③ その他の有害事象:感染症、リンパ球減少、間質性肺炎など
- ④ アセトアミノフェン500～600mgを内服